

平成 28 年度中播福社会事業報告

I. 法人本部

総括

法人本部事務局は、構成市町障害福祉担当課長との事前調整のもと、法人の業務を決定する理事会及び運営協議会の決定に基づく各種計画の策定、人事、財務等の管理を適正に処理するとともに、監事が行う内部監査事務、行政監査事務等について円滑な処理を行った。

また、改正社会福祉法に関連し定款改正をはじめ、この制度改革の趣旨を踏まえ経営組織の見直しや情報公開、内部留保の適正化、社会貢献活動の継続などに取り組んだ。

当法人は、この地域における障害福祉のひとつの拠点としての役割を果たすため、効率的で自立性の高い法人経営につとめながら、市町との福祉施策と連動した地域ニーズに沿った質の高いサービスを目指して行きたいと考えているところである。

そして、社会福祉法人中播福社会基本方針の

- (1) 障害者一人ひとりの人権擁護の確立
- (2) 障害者が住みなれた地域での生活環境づくりの推進
- (3) 家庭生活に近い施設環境づくりの推進
- (4) マンパワーの確保と優れた人材づくり
- (5) 運営体制基盤確立の積極的推進

以上の観点から、平成28年度の諸事業等を実施した。

尚、平成 28 年度の主な取組みとして、

- ① 人材の確保と育成（継続）
- ② 社会福祉法人制度改革の情報収集と法人組織体系の検討（新規）
- ③ 中播福社会、各事業所の「事故発生時・緊急時のためのマニュアル』に沿った利用者対応の展開。（継続）
- ④ 中播福社会虐待防止マニュアルに沿った、虐待・権利侵害の未然防止や早期発見、迅速な対応支援の実施。（継続）また、虐待防止のための各職員へのチェックリストの実施評価。（新規）
- ⑤ 全国社会福祉事業団協議会近畿ブロック「専門性を向上させる研修会」の開催（新規）
- ⑥ 法人全職員の救命講習の実施（各職員が隔年で受講）

以上について取り組んできた。

Ⅱ. 香翠寮

1. 香翠寮利用者の状況

(1) 香翠寮施設入所支援利用者状況（夜間）

平成 29 年 3 月 31 日現在（定員 30 名・契約者数 30 名）

① 市町別支給決定契約利用者状況 (人)

	姫路市	市川町	福崎町	神河町	計
男	5	2	3	4	14
女	4	2	2	8	16
計	9	4	5	12	30

② 年代別利用者状況 (人)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計	平均年齢(歳)
男	1	2	2	4	3	2	14	52.9
女	0	1	2	7	5	1	16	56.6
計	1	3	4	11	8	3	30	54.9

③ 療育手帳状況 (人)

区分	A	B 1	B 2	計
男	13	1	0	14
女	15	1	0	16
計	28	2	0	30
うち身体障害者手帳所持者	7	1	0	8

④ 障害支援区分 (人)

区分	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	2	3	3	6	14
女	0	0	0	4	8	4	16
計	0	0	2	7	11	10	30

平均障害支援区分 4.9

(2) 香翠寮生活介護事業利用者状況 (日中)

平成 29 年 3 月 31 日現在(定員 40 名・契約者数 36 名)

① 市町別支給決定契約利用者状況 (人)

	姫路市	市川町	福崎町	神河町	計
男	7	2	3	4	16
女	8	2	2	8	20
計	15	4	5	12	36(うち通所者 6)

② 年代別利用者状況 (人)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計	平均年齢(歳)
男	2	2	3	4	3	2	16	50.2
女	2	1	3	8	5	1	20	52.5
計	4	3	6	12	8	3	36	51.5

③ 療育手帳状況 (人)

	A	B 1	B 2	計
男	15	1	0	16
女	19	1	0	20
計	34	2	0	36
うち身体障害者手帳所持者	8	1	0	9

④ 障害支援区分 (人)

区分	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	3	3	3	7	16
女	0	0	1	6	9	4	20
計	0	0	4	9	12	11	36

平均障害支援区分 4.8

2. 事業・行事等実施状況

(1) 生活支援

当番活動には、全員が行う放送当番・掃除（風呂掃除・食堂掃除・コップ洗い）等、希望者に依頼し工賃に反映した。当番活動がより責任を持って取り組めるようになった。

(2) 生産活動支援

利用者の特性、障害の程度及び本人の希望を考慮して、利用者に適した生産活動を実施し、働く喜びにつながっていくように取り組んできた。

班	作業内容
木工班	職員や利用者が電動糸鋸等の機械を使用し、木をつかった動物や車の動くおもちゃ、パズル等を作成した。また紙やすりを使用し、一つ一つ手で懇切丁寧に磨き滑らかになるまで磨くことができた。根気のいる作業だが磨くところに印をつけ視覚的に分かり易いように支援をした。また磨く事で印が消える事により達成感を得られるように配慮した。
園芸班	四季折々の花、野菜を種から蒔いて育てています。利用者の高齢化も進んでいるが、土づくりや油かす入れ、草抜きなど年齢や個人の体力に合わせた作業を行った。 寮の進入路入口に無人販売所を設け自主生産品を販売し地域の方々に購入していただく取り組みをした。また、地域の直売所において利用者の育てた花を商品として置いてもらい、地域の住民の方に購入して頂いた。
家庭科班	マスコット作り、マット編み、ビーズのストラップ等の作業を行った。各利用者の障害特性に合わせ得意な作業はもちろん、新たな作品作りを模索しているところである。
業者作業班	主にプラスチック製品の S 字フックの選別や袋入れ等の作業を行った。フックを置く位置を図式化し、視覚的にも分かり易いように支援した。またピンチカゴの取手付けの作業やエンジンオイル等の処理袋作成・梱包作業、釘の袋詰め作業も継続して支援した。

(作業工賃支給状況)

- ・生産活動に伴う収益は、必要経費を差し引いて利用者に支給した。
- ・毎月の工賃に、当番活動をしていただいている利用者に関しては、手当として工賃にプラスして支給して意欲を高めることができた。
- ・支給内容は、香翠寮作業工賃支給に関する要綱による。
- ・年間生産活動収益額

(年間収入額) (年間支出額) 【必要経費+作業工賃】 (差引残高)
1,977,478 円 - 1,977,478 円 【837,748+1,139,730】 = 0 円

(3) 創作活動支援・クラブ活動

《地域の指導者による活動》

・クラブ活動（ボランティア）

【 】は、ボランティア団体名

クラブ名	内容
音楽療法 (ハーモニカ)	先生のハーモニカに合わせて童謡等様々な歌を歌った。
音楽療法 (楽器)	先生のピアノに合わせて歌ったり、コンガ、タンバリン等の打楽器を使い音出す事を楽しんだ。
太鼓 【福崎太鼓】	ぼんたん・ゆうあい文化祭、盆踊りに披露する事を目的に月に1回実施。新曲にも挑戦し、練習してきた。
茶道	四季折々のお花に触れ、茶道の作法を学んだ。茶菓子も四季に沿ったものをいただき、お茶を楽しんだ後に当月の季節をテーマにした折り紙を折った。
書道	「赤とんぼ」「もみじ」などの季語を半紙に書き寮内に掲示した。香寺文化祭に出展する作品も制作した。
【たんぽぽ】	毎月の誕生会に歌でお祝いしていただいた。また、エプロンシアターや紙芝居、マジックなどを披露していただき、楽しむことができた。
喫茶奉仕 ボランティア 【三日月会】	ボランティアの方にコーヒー紅茶、季節に合った利用者の選択する飲物を喫茶店風に提供して頂いた。

《スポーツ文化活動等》

☆ (スポーツ)

クラブ名	内容
フライングディスク	のじぎくスポーツ大会に参加練習を実施。アキュラシー（数を競う物）とディスタンス（距離を競う物）を実施。
散策	地域を散策し、花等を見に行き季節を感じたり、地域住民と触れ合う機会になれた。
グランドゴルフ	適時、グラウンドで実施した。

☆ (文化教養)

クラブ名	内容
ネイル	外出行事前・余暇活動等にネイルをしています。おしゃれを楽しみ、身だしなみを整えることを目的とする。

ぬり絵・はり絵	月に1人1作品、季節をテーマにしたものを制作。また寮内行事には様々な人に見てもらおうと寮内に展示用の作品も作成。一般公募しているアート展等に応募もした。
タクティールケア	手や腕のマッサージを行い、アロマやリラクゼーションCDを使いゆっくりとした空間を提供した。
テレビ体操	DVD等を利用し、普段使わない部分をストレッチし、柔軟性を高める運動も実施した。 健康面では、毎日実施した。
畑	季節に合った野菜・果物を利用者中心に育て、出来たものを給食、おやつ時に食した。
DVD鑑賞	余暇活動として、普段見る事の出来ない映画や時代劇を鑑賞した。
カラオケ	昔よく聞いた歌を一緒に歌ったり、聞くことにより当時は懐かしんでもらい、語ってもらう時間を提供した。
化粧療法	メイクを通じて生理的・心理的な側面から生活の質の向上を図った。また外出行事時等で職員が女性利用者に化粧を行っておしゃれを楽しんだ。

(4) 健康管理支援

毎月実施

- ① 嘱託医訪問 毎月第3水曜日
- ② バイタル測定 月2回
体温測定毎日 血圧測定入浴前毎日 (65歳以上高齢者と高血圧利用者のみ)
- ③ 口腔衛生指導 (歯科衛生師による指導) 毎月第3木曜日
- ④ 健康づくり1日2回1分 (片足運動)
- ⑤ 各種検診の受診

年間通院状況

年間	内科		外科		眼科		整形外科		耳鼻科		皮膚科		精神科		歯科		泌尿器		合計	
	診	薬	診	薬	診	薬	診	薬	診	薬	診	薬	診	薬	診	薬	診	薬	診	薬
計	82	15	11	0	86	51	59	52	16	11	16	49	2	0	62	21	0	355	178	

※診…診察 薬…薬取りのみ

(5) 給食関係

献立内容は季節感を感じる献立作成。味付けは高齢化、持病により塩分量を控え提供しています。年々刻み食の提供者が増え個人的に対応しながら、食べる楽しみを味わう事の出来き、利用者の方々の「美味しい」の声が聴けるような給食提供を心掛けた。また、各利用者の誕生日に希望のメニューを取り入れた献立を実施した。

(6) 高齢者対策の推進

施設利用者の高齢化やそれに伴う認知症状を呈する利用者の増加に伴い、嘱託医に相談・指導を受けながら、認知を始めとした高齢者理解について事例を通じて理解を深め、個々の利用者に合わせた日課及び健康管理に努めてきた。また、家族と連絡を取りながらゆったりとした生活を送っていただく様に配慮した。

(7) 家族会との連携

施設と利用者が施設運営の目的や今後のあり方について共通の認識を持つ事に努め、連携を深めながら、利用者の個別援助の充実と各種行事を実施した。

(8) 福祉サービスの苦情申出窓口の設置とサービス改善の実施

社会福祉法第 82 条の規定により、香翠寮では、利用者やその家族及び地域の方々からの苦情に適切に対応していく体制を整え、相談箱の設置、利用者・保護者への説明を実施した。利用者の日々の声にも耳を傾け、出来るところから改善した。

(9) 短期入所事業（障害福祉サービス事業）（定員 4 名）

利用実績報告 平成 29 年 3 月 31 日現在 (日)

年間	姫路市		市川町		福崎町		神河町		小計		合計
	児	者	児	者	児	者	児	者	児	者	
合計	0	895	0	244	0	26	0	65	0	1,230	1,230

(10) 日中一時支援事業（地域生活支援事業）（定員 5 名）

利用実績報告 平成 29 年 3 月 31 日現在 (件)

年間	姫路市		市川町		福崎町		神河町		小計		合計
	児	者	児	者	児	者	児	者	児	者	
合計	74	593	8	6	3	95	43	100	128	794	922

Ⅲ. 居宅介護事業・重度訪問介護事業・移動支援事業

香翠寮居宅介護事業所は、障害者総合支援法による障害福祉サービスである居宅介護事業等と、同法による地域生活支援事業(市町事業)である移動支援事業の実施をしている。在宅で暮らす障害を持たれた方々が、地域社会の中で、自立した日常生活を営むことができるように、相談支援事業・役場等各種関係機関と連携を図りながら、総合的な生活支援を提供すべく実施してきた。

居宅介護事業では、本人や家族など環境や生活状況に変化のみられる方もおられ、利用者の方の今の状況にあわせた柔軟な支援になるよう心掛けてきた。今期は、体調を崩して入院しヘルパー訪問が中止となった人や、新たに通院介助が増えた人があった。

移動支援事業では、数名の成人者の定期的な外出を含め、個人の状況・希望などに合わせた移動支援を実施した。今期も、相談支援によるサービス等利用計画から移動支援を希望・契約される方が増加。また、年々、『身体介護あり』の方が増えている。契約者の殆どの利用者が、平日は学校・通所施設・作業所で日中を過ごされていることから、土・日・祝日の利用が増加した。外出することに慣れ、出かけ先が姫路だけでなく明石・神戸・赤穂・城崎と広範囲になってきている。

職員配置は、常勤嘱託等ヘルパー2名とパートヘルパー1名、登録ヘルパー2名(年度途中から2名減となっている)。ヘルプサービス実施区域が広く、サービス提供時間よりも移動に時間を費やすことの解消を図るため、登録ヘルパーにおいては直行直帰の方式を取ることで、多くの方々にサービス提供ができるように精力的に事業展開を実施した。

(1) 居宅介護事業契約者状況 平成29年3月31日現在 (人)

	姫路市	市川町	福崎町	神河町	合計
児童	0	0	1	0	1
者	11	4	3	3	21
合計	11	4	4	3	22

*28年度中に利用された契約者人数を掲載しています。

(2) 移動支援事業契約者状況 平成29年3月31日現在 (人)

	姫路市	市川町	福崎町	神河町	その他	合計
児童	2	0	0	0	0	2
者	9	7	2	4	0	22
合計	11	7	2	4	0	24

*28年度中に利用された契約者人数を掲載しています。

IV. 相談支援事業

1. 事業概要

指定香翠寮相談支援事業所は、障害者総合支援法における、市町村が行う地域生活支援事業の一つである障害者相談支援事業（地域生活支援事業・市町村必須事業）を、姫路市・市川町・福崎町・神河町からの委託を受け実施した。（法律第77条第1項第3号）

具体的には、

- 福祉サービスの利用援助（情報提供、相談等）
- 社会資源を活用するための支援（各種支援施策に関する助言・指導等）
- 社会生活を高めるための支援
- ピアカウンセリング
- 権利擁護のために必要な援助
- 専門機関の紹介等

障害福祉サービスを利用する際には、サービス等利用計画（児童通所支援等利用の場合は、児童支援利用計画）が必要である事が定着してきたが、今年度も引き続き、姫路市・市川町・福崎町・神河町の方々はじめ中播磨圏域の入所施設を利用されている圏域外の市町の方の計画相談も作成してきた。

相談支援を実施する中で、障害のある方のニーズの掘り起こしができるが、一方で、地域の社会資源不足や偏り、地域の支援力等課題がみえてきている。多様な生活課題を抱えた困難なケースの中には、既存のフォーマルなサービスだけでは、支援が難しい場合や、サービス利用にさえ結びつかない場合もある。また、香翠寮相談支援事業所は、姫路市地域自立支援協議会、神崎郡自立支援協議会にいずれも構成メンバーとして参加しているが、保健、医療、福祉、教育、就労等の多分野、他職種にわたる連携、支援が継続できるネットワーク作りの大切さを改めて認識しているところである。

香翠寮相談支援事業所は平成28年1月から特定事業所加算を取得し、支援困難ケースの積極的な対応を行うほか、専門性の高い人材を確保し、質の高いマネジメントを実施するための体制を整え取り組んできた。

現実的には、今現在受けている利用者の日々の業務に追われ、新規で相談があってもすぐ受けることができないのも現状であるが、支援困難ケースに関しては積極的に受けてきた。

今後も基本相談を大切にし、障害のある人が、自立した日常生活・社会生活を営み、地域で暮らす安心感に繋がるような相談支援の実施と、地域全体のマネジメントの質の向上に努めていく所存である。

（1）指定事業

①指定特定相談支援事業（サービス利用支援・継続サービス利用支援）

障害のある方やその家族の状況、ニーズに合わせて必要なサービスの組み立てを一緒に考え、サービス等利用計画を作成した。また、関係機関との連絡調整、サービス担当者会議の開催、計画の見直し等を行った。

○指定特定相談支援の件数（平成28年4月～平成29年3月までの請求件数）

	計画	継続	合計
姫路市	100	195	295
市川町	33	26	59
福崎町	23	37	60
神河町	27	37	64
豊岡市	1	3	4
宝塚市	1	2	3
池田市	0	1	1
加西市	1	0	1
合計	186	301	487

②指定一般相談支援事業(地域移行支援・地域定着支援)

この事業は、障害者支援施設や精神科病院に入所・入院している人たちの地域移行の業務(地域移行支援)や地域移行した人、地域で一人暮らしなどを行っている人の様子の確認や、緊急時の対応、地域での暮らしが困らないように支援する業務(地域定着支援)を行うことになっている。

香翠寮相談支援事業所では、一人暮らしをしている知的障害者の方、難病を抱えた父親と暮らしている知的障害の方の地域定着支援を行ってきた。

○地域相談支援（定着）の契約者数及び緊急時支援

	契約者数（人）	緊急時支援（件）
姫路市	2（1）	1（0）
市川町	0（0）	0（0）
福崎町	0（0）	0（0）
神河町	0（0）	0（0）
合計	2（1）	1（0）

※平成29年3月末現在。（ ）は平成28年3月末件数

③指定障害児相談支援事業(障害児支援利用援助・継続障害児支援利用援助)

児童福祉法における障害児の通所サービス等利用に係る相談等を行った。

○障害児相談支援の件数（平成28年4月～平成29年3月までの請求件数）

	計画	継続	合計
姫路市	20	26	46
市川町	0	0	0
福崎町	0	0	0
神河町	0	0	0
洲本市	1	0	1
合計	21	26	47

2. 委託事業

①障害者相談拠点事業[障害者相談支援事業、基幹相談支援センター等機能強化事業] (姫路市)

○障害者相談支援事業

障害者等からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用援助等、必要な支援を行うとともに、虐待の防止及び早期発見のための関係機関との連絡調整その他の障害者等の権利擁護のための必要な以下の援助を行ってきた。

- ・福祉サービスの利用援助
- ・社会資源を活用するための支援
- ・社会生活を高めるための支援
- ・ピアカウンセリング
- ・権利の擁護のために必要な支援
- ・専門機関の紹介等

○基幹相談支援センター等機能強化事業

地域における相談支援の中核的な役割を担う機関である、姫路市障害者相談支援センター「りんく」での相談対応を行った。また、姫路市障害者相談拠点事業者連絡会及びその他連絡会への参加、さらに姫路市地域自立支援協議会へ相談支援事業者として参画した。

②障害者相談支援事業(市川町・福崎町・神河町)

市川町・福崎町・神河町の神崎郡各町からの委託により、障害者等またはその家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を具体的には以下のような内容で行ってきた。また、神崎郡自立支援協議会へ相談支援事業者として参画した。

- ・障害福祉サービスの利用援助
- ・社会資源を活用するための支援
- ・社会生活力を高めるための支援
- ・ピアカウンセリングに関する業務
- ・権利の擁護のために必要な援助に関する業務
- ・専門機関の紹介などに関する業務
- ・神崎郡自立支援協議会への参画
- ・障害者虐待一時保護支援、触法など困難事例の支援に関する業務
- ・住宅入居等支援（居住サポート事業）に関する業務

●障害者相談支援事業の相談支援内容

(相談支援を利用した障害者等の実人員)

	障害者	障害児	計
姫路市	148	26	174
市川町	31	1	32
福崎町	22	1	23
神河町	32	0	32
計	233	28	261

(相談形態)

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
姫路市	443	81	18	983	7	8	822	1	2,363
市川町	58	4	0	10	0	0	39	0	111
福崎町	55	3	1	38	0	1	57	0	155
神河町	67	8	6	86	0	5	104	1	277
計	623	96	25	1,117	7	14	1,022	2	2,906

(相談内容)

	福祉サービス利用等	障害や疾病理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済	生活技術
姫路市	1,230	836	624	893	122	775	218	218
市川町	69	45	33	35	0	41	9	17
福崎町	77	58	41	55	0	61	15	13
神河町	137	105	56	78	4	70	40	37
計	1,513	1,044	754	1,061	126	947	282	285

	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計
姫路市	98	130	26	102	5,272
市川町	0	5	4	5	263
福崎町	22	14	0	2	358
神河町	17	21	7	13	585
計	137	170	37	122	6,478

③障害児等療育支援事業(兵庫県・姫路市)

障害児等療育支援事業は、兵庫県及び姫路市の事業で、受託施設は、香翠寮であるが、法人全体で推進体制をもって実施した。

- (1) 在宅支援訪問療育等指導事業（家庭などを訪問しての相談、助言）
- (2) 在宅支援外来療育等指導事業（施設に来ていただいたの相談、助言）
- (3) 施設支援一般指導事業（障害児・者の在籍する学校、保育園、作業所などの職員に対して療育等に関する指導、助言）

○平成 28 年度 障害児等療育支援事業実績

	①訪問	②外来	③一般
兵庫県	132 (132)		21 (21)
姫路市	93 (120)	134 (108)	35 (29)

※（ ）は、委託件数

3. 自主事業等

中播福祉社会在宅障害児者地域交流の集いと称して、障害を持たれた児者の方を対象に音楽療法教室やボウリング大会と食事会を実施した。また、地域で働き、一人暮らしなど地域で自立した社会生活を送っておられる方または、送ることを目標にしている障害者の方を対象にしたふれあい会を月に1回実施した。

V. いちかわ園

1. いちかわ園多機能型事業所利用状況

(1) 生活介護事業利用者状況

平成 29 年 3 月 31 日現在 (定員 28 名 契約者数 29 名)

①市町別支給決定契約利用者状況 (人)

	姫路市	市川町	福崎町	神河町	計
男	3	4	1	6	14
女	3	8	4	0	15
計	6	12	5	6	29

②年代別利用者状況 (人)

	20代	30代	40代	50代	60代	計	平均年齢(歳)
男	3	4	7	0	0	14	38.0
女	2	5	4	3	1	15	41.1
計	5	9	11	3	1	29	39.6

③療育手帳状況 (人)

	A	B 1	B 2	計
男	12	2	0	14
女	15	0	0	15
計	27	2	0	29
うち身体障害者手帳所持者	11	1	0	12

④障害支援区分 (人)

区分	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	1	5	6	2	14
女	0	0	2	6	4	3	15
計	0	0	3	11	10	5	29

平均障害支援区分 4.6

⑤利用者の通園方法 (人)

	J R	自転車	徒歩	家族送迎	送迎車	計
男	0	1	1	3	9	14
女	0	0	2	3	10	15
計	0	1	3	6	19	29

(2) 就労継続支援B型事業利用者状況

平成29年3月31日現在（定員12名：契約者数12名）

①市町別支給決定契約利用者状況 (人)

	姫路市	市川町	福崎町	神河町	計
男	0	3	3	1	7
女	0	3	0	2	5
計	0	6	3	3	12

②年代別利用者状況 (人)

	20代	30代	40代	50代	計	平均年齢(歳)
男	2	0	2	3	7	41.4
女	1	2	2	0	5	35.6
計	3	2	4	3	12	39.0

③療育手帳状況 (人)

	A	B 1	B 2	計
男	4	3	0	7
女	4	1	0	5
計	8	4	0	12
うち身体障害者手帳所持者	1	0	0	1

④障害支援区分 (人)

区分	1	2	3	4	5	6	計
男	0	1	4	2	0	0	7
女	0	2	1	2	0	0	5
計	0	3	5	4	0	0	12

平均障害支援区分 3.1

⑤利用者の通園方法 (人)

	J R	自転車	徒歩	家族送迎	送迎車	計
男	2	1	1	0	3	7
女	0	0	1	0	4	5
計	2	1	2	0	7	12

2. 事業・行事等実施状況

(1) 生活支援

①生活介護事業

排泄・食事の介護、洗濯及び掃除等の家事、また外出行事での買い物等自立した生活が出来るように利用者の適正や希望に応じた生活支援を実施した。

利用者の状態・状況に合わせた歩行やダンス等の身体的機能の向上のための支援、ちぎり絵や紙工等による季節をテーマとした作品を仕上げる等の創作活動、カラオケや音楽鑑賞等の活動で情緒の安定へとつなげる支援をした。

②就労継続支援 B 型事業

作業に取り組みながら、就労、日常生活に必要なマナー・数を数える・字を書く等といった、知識及び能力向上を図る支援をした。

③当番・自治会活動

当番活動

利用者の生活能力の向上を目指すために、下記当番活動を支援した。

①食事当番(ティータイム、昼食の準備・片付け・コップ洗い)

②放送当番(朝礼・終礼等出席確認、日課説明等)

自治会活動

利用者個々の意見・要望を施設運営に活かせる様、自治会組織の活動を支援した。また、ひまわり活動日と称して自治会役員が季節的な行事等内容を考え利用者主体の活動をした。自治会内容は以下の通りである。

・自治会(毎月) 自治会役員の進行で、前月の目標反省をした。

また、当月の目標を、生活・作業(就労)・給食・行事・健康の五つの委員会を設け、協議決定し、利用者に周知した。

(2) 生産活動

①生活介護事業

自主生産のさをり織り等の手芸作品の製作や、モーター部品の組み立て等の軽作業を提供し、働く楽しさを体得する支援をした。

(業者作業内容)

種 目・内 容
プラスチック選別・箱詰め・バリ切り・組立等
新春鏡餅飾り用の奉書折り
モーター部品の組み立て・鉄芯入れ
ご幣折り
アルミ缶 圧縮リサイクル
豆 選別
エンジンオイル等の処理袋作成・梱包

(自主生産作業内容)

自主生産種目
手芸

(作業工賃支給状況)

- ・生産活動に伴う収入の中から必要経費を差し引いて利用者に支給した。
- ・支給内容は、いちかわ園作業工賃支給に関する要綱による
(年間収入額) (年間支出額) 【必要経費+作業工賃】 (差引残額)
1,002,576円 — 1,002,576円 【82,253円+920,323円】 = 0円

②就労継続支援B型事業

利用者の関われる工程を増やし、利用者の有する障害特性と本人の選択に配慮した授産活動を展開し、作業意欲を高めた。

(業者作業内容)

種目・内容
新春鏡餅飾り用の奉書折り
菓子の箱詰め・袋入れ・梱包等
段ボールリサイクル
菓子箱折り
病院カルテパンチ穴補強用シール貼り
照明サイドねじ付け作業等
バイク用ゴム部品検品作業
レンズ枠セット・説明書折り作業等
台所水受け皿ベーステープ貼り等

(自主生産作業内容)

自主生産種目
パウンドケーキ

(作業工賃支給について)

- ・生産活動に伴う収入の中から必要経費を差し引いて利用者に支給した。
- ・支給内容は、いちかわ園作業工賃支給に関する要綱による。
(年間収入額) (年間支出額) 【必要経費+作業工賃】 (差引残額)
1,844,706円 — 1,844,706円 【376,874円+1,467,832円】 = 0円

(3) 健康管理支援

- ①嘱託医訪問 年9回実施。
- ②身体測定 毎月実施
- ③希望者は香翠寮にてJA厚生連による事業所健診を受診した。

(4) 文化・スポーツ支援

◀地域の指導者による活動▶

【 】は、グループのボランティア名

クラブ名	内容
リズムダンス(月1回) 【スイートピー】	民謡・歌謡等の音楽に合わせて楽しく踊った。
フラダンス(月1回) 【ナープアフラクラブ】	ハワイで生まれた南国舞踊を南国気分の雰囲気の中、楽しく踊った。 ふれあい感謝のつどいで披露した。
書道クラブ (月1回)	毎月の練習を重ね、ふれあい感謝のつどいで展示や、市川町の美術展にも出展した。
ゲートボールクラブ (月1回) 高気温8月・9月、低気温1月・2月は実施せず。	生活・就労継続支援 B 型利用者合同で実施し、対戦形式で行った。
手芸クラブ	さをり織り・編み物、また小物ケースづくりなどを行った。

(5) 保護者会との連携

施設と保護者が、施設運営の目的について、共通の認識を持つことに努め、個別支援の充実と各種事業の充実を図り、下記の事業を実施した。

(6) 福祉サービスの苦情申出窓口の設置とサービス改善の実施

社会福祉法第82条の規定により、いちかわ園では、利用者やそのご家族や地域の方々からの苦情に適切に対応していく体制を整え、相談箱の設置を行い、苦情を受付け、利用者の立場に立ったサービスの質の向上・業務改善に取り組んだ。

(7) 日中一時支援事業 (定員 5名)

利用実績報告

平成 29 年 3 月 31 日現在

(件)

年間	姫路市		市川町		福崎町		神河町		小計		合計
	児	者	児	者	児	者	児	者	児	者	
合計	15	0	67	220	0	0	10	457	92	677	769

VI. いちかわ園ゆめさき分園

1. いちかわ園ゆめさき分園就労継続支援B型事業所利用者の状況

平成 29 年 3 月 31 日現在（定員 20 名・契約者数 19 名）

（1）市町別支給決定契約利用者状況（人）

	姫路市	神河町	市川町	福崎町	計
男	11	0	0	2	13
女	6	0	0	0	6
計	17	0	0	2	19

※姫路市 女性 1 名 6 月 30 日退所

※姫路市 男性 1 名 7 月 11 日利用契約

（2）年代別利用者状況（人）

	20 代	30 代	40 代	50 代	計	平均年齢（歳）
男	7	6	0	0	13	30.5
女	1	3	1	1	6	36.8
計	8	9	1	1	19	32.5

（3）療育手帳状況（人）

	A	B 1	B 2	不所持	計
男	9	2	1	1	13
女	4	1	1	0	6
計	13	3	2	1	19
うち身体障害者 手帳所持者	2	0	0	1	3
うち精神障害者保 健福祉手帳所持者	0	0	0	1	1

（4）障害支援区分（人）

区分	1	2	3	4	5	6	未認定	計
男	0	0	1	6	4	0	2	13
女	0	0	0	3	0	1	2	6
計	0	0	1	9	4	1	4	19

(5) 利用者の通園方法

(人)

	バス	徒歩	家族送迎	計
男	3	1	9	13
女	2	2	2	6
計	5	3	11	19

2. 事業・行事等実施状況**(1) 作業・就労支援**

利用者の有する障害特性と本人の選択に配慮した生産活動を行う中で、作業能力の向上と推進を目指し、利用者の主体性と就労に必要な基本的職業習慣が身につくように支援した。また、昨年と比べて作業工賃の増加を図った。

(業者作業内容)

種 目・内 容
新春鏡餅飾り用の奉書折り
菓子の箱詰め・梱包
菓子箱折り
アルミ缶リサイクル
ご幣折り
エンジンオイル等の処理袋作成・梱包

(自主生産作業内容)

自主生産種目
手芸

(作業工賃支給状況)

生産活動に伴う収入の中から、必要経費を差し引いて利用者に支給した。

支給内容は、いちかわ園ゆめさき分園作業工賃支給に関する要綱による。

(年間収入額) (年間支出額) 【必要経費+作業工賃】 (差引残高)
 1,639,628円 — 1,639,628円 【107,778+1,531,850】 = 0円

(2) 生活支援

利用者に対して、排泄や食事の介助、掃除等、日常の生活に必要な支援を利用者個々にあった対応で行った。そして、歩行・音楽・各種当番活動・余暇活動を通し集団活動のルールや協調性・生活技術の向上や生活能力の育成を支援した。

また、利用者ひとりひとりの意見・要望を施設運営に活かせるよう、利用者自治会組織の活動を支援した。

- ① 食事当番(ティータイム、昼食の準備・片付け)
- ② 掃除当番 (各箇所の掃除分担にて実施)
- ③ 朝礼当番 (朝礼・終礼等挨拶出席確認等)
- ④ 誕生会(毎月)
- ⑤ 自治会(毎月) (月間目標の設定・反省・利用者からの要望)

(3) 健康管理支援

- ① 嘱託医訪問 年9回実施。
- ② 身体測定 毎月実施
- ③ 希望者は香翠寮にて JA 厚生連による事業所健診を受診した。

(4) 文化・スポーツ支援

クラブ活動

《地域の指導者による活動》

クラブ名	内 容
茶道(月1回)	各月男女交代で、抹茶をたて和菓子を頂き、お茶を楽しむ。茶道後は折り紙などの工作活動を行った。
調理実習 (月1回)	当番を決め、誕生会のおやつを作った。作る・食べるといった楽しいひと時が過ごせた。

(5) 保護者会との連携

施設と保護者が、施設運営の目的について、共通の認識を持つことに努め、連携を深めながら、下記事業を実施した。

(6) 福祉サービスの苦情申出窓口の設置とサービス改善の実施

社会福祉法第 82 条の規定により、いちかわ園ゆめさき分園では、利用者やその家族及び地域の方々からの苦情に適切に対応していく体制を整え、相談箱を設置した。また、利用者の日々の声にも耳を傾け、出来るところから改善した。

(件)

(7) ゆめさき分園日中一時支援事業状況 (定員 4名)

利用実績報告

平成 29 年 3 月 31 日現在 (件)

年間	姫路市		市川町		福崎町		神河町		小計		合計
	児	者	児	者	児	者	児	者	児	者	
合 計	47	197	0	0	0	0	0	0	47	197	244